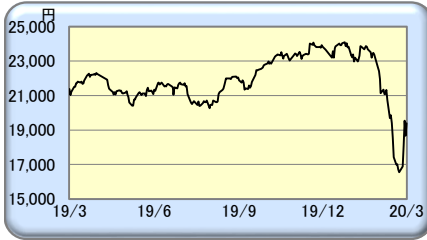


1. 日米株式と円/ドルの推移

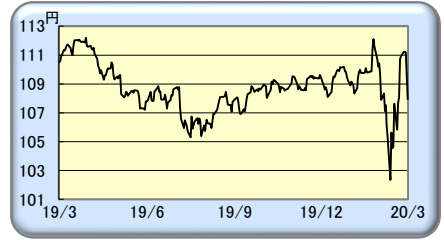
<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/2/28	2020/3/27	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	21,142.96	19,389.43	24,448.07	2018/10/2	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	25,409.36	21,636.78	29,568.57	2020/2/12	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	107.89	107.94	114.73	2017/11/6	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～主要国中央銀行の金融緩和策により流動性懸念が後退したことや、各国政府の大規模経済対策への期待感から、上昇～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+2,836.60円(+17.14%)、TOPIXが+176.27ポイント(+13.74%)となり、主要国中央銀行の金融緩和策により流動性懸念が後退したことや、各国政府の大規模経済対策への期待感から、上昇しました。業種別(東証33業種)でみると、保険業、倉庫・運輸関連、非鉄金属、金属製品などの全業種が上昇しました。週初の23日は、先々週の19日に日銀がETF(指数連動型上場投資信託受益権)買入金額を2,000億円規模に増額したことなどを好感し、上昇して始まりました。24日には、FRB(米連邦準備理事会)が、米国債と政府支援機関保証付き住宅ローン担保証券の無制限購入などを発表したことを受け、大幅上昇しました。25日も、①米トランプ政権と与野党指導部が2兆ドル近くの大規模経済対策で大筋合意に至ったこと、②東京オリンピックにおいて延期が正式に決定され中止は回避されたことなどから、大きく続伸しました。26日は、東京都知事が週末の外出自粛を要請したことから首都封鎖などへの懸念が高まり大幅下落しましたが、週末27日は①前日の米国株市場が大型経済対策の早期成立期待から大幅上昇したこと、②3月期決算企業の権利付き最終売買日にあたることから、配当の権利取りや機関投資家の配当再投資に絡む買いが意識されたことなどから、上昇して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
3月30日	Mon	ドイツ	CPI(消費者物価指数)(前年比)	3月 +1.7%
3月31日	Tue	日本	失業率	2月 2.4%
		国際	鉱工業生産(前月比)	2月 +1.0%
		中国	製造業PMI(購買担当者景気指数)	3月 35.7
		非製造業PMI	3月 29.6	
4月1日	Wed	欧州	ユーロ圏CPI(除食品・エネルギー・たばこ/前年比)	3月 +1.2%
4月2日	Thu	日本	日銀短観 大企業製造業景況感(現状)	3月調査 0
		米国	ISM製造業景況指数	3月 50.1
4月3日	Fri	米国	製造業受注(前月比)	2月 ▲0.5%
		米国	非農業部門雇用者数変化	3月 27.3万人
			ISM非製造業景況指数	3月 57.3

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～新型コロナウイルスの感染拡大動向等を睨みながら上下に大きく振れやすい展開～

今週の日本株市場は、新型コロナウイルスの感染拡大動向と各国の政府・中央銀行の対応を睨みながら、引き続き上下に大きく振れやすい展開が続くと予想します。バリュエーション面で割安感がある中、新型コロナウイルスによる景気下押し圧力を抑制するため、米国で2兆ドル規模の景気対策法案が成立するなど各国政府は大規模な財政政策を打ち出す姿勢をみせており、各国中央銀行も国債に加えその他リスク資産の大規模な買取を行うことなどを通じ金融市場の安定化に注力していることなどから、下値は限定的とみています。しかし、米国やイタリアの新型コロナウイルス感染者数が中国を上回るなど、欧米を中心に世界的な感染者拡大ペースが衰えない中、主要各国が相次いで人の移動制限を強化するなど、新型コロナウイルスに伴う景気の先行き不透明感が払拭されないことから、上値も重い展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では31日の失業率や鉱工業生産、1日の日銀短観、米国では1日のISM製造業景況指数や2日の製造業受注、3日の雇用統計、欧州では31日のユーロ圏CPI、中国では31日の製造業・非製造業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.

URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。